

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ポニーナ京成津田沼			
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年10月25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数)	26人
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年10月25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数)	11人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	情報共有	・その日の活動内容や自由遊びの様子、職員や他児童とのちょっとしたやりとりなど細かいところまで記録に残し、写真と一緒に保護者様に共有しています。 ・職員間、関係機関等とも積極的に情報共有を図り、同じ方向を向いて支援できるように日々取り組んでいます。	・今後もHUGアプリでの報告・連絡に限らず、電話や対面でのやりとりも大切にします。 ・必要に応じて関係機関との連携を図って参ります。
2	職員配置・支援の手厚さ	・常に基準以上の職員を配置し、安全第一をモットーとして支援を行っております。 ・発達年齢や特性、情緒面などに配慮し、利用者様に負担がかけすぎない支援を心がけています。またそのときの様子によってマンツーマンで職員をつけるなど臨機応変に対応しております。	・職員の配置に関しては毎月の利用者様の人数に合わせて綿密な調整を行って参ります。 ・今後も職員間で利用者様の情報共有を積極的に行い、利用者様が安心感を持って通所できるように努めます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの広さ	・部屋の敷地面積に対して、1日あたりの利用者（児童）と職員の人数のバランスがやや保ててないときがあると考えられます。	・設置されている椅子・机等、使用していない物については一時的に畳んで別の場所に保管することでスペースの確保に繋げていきます。
2	非常時等の対応	・各家庭への避難訓練等の実施のアナウンス、または報告について、実際に参加した、あるいは参加する予定の利用者（児童）の家庭での連絡で留まっていました。 ・全家庭への緊急時の対応について、訓練の実施状況の周知が満足にできていないことが考えられます。	・実施した場合は個人の記録に加え、全家庭が確認できるよう活動記録での周知を行っていきます。 ・曜日によって利用者（児童）が異なるため、全曜日満遍なく避難訓練が出来るように検討し、実施の機会を増やしていくよう努めていきます。
3			